

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 団欒

作成日: 令和元年 8月 7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を行わない事を基本としているが、ご家族の希望で安全面を重視し4点柵を施行している入居者が1名いる。今後、4点柵の完全解除に向けた取り組みを行う。	ご家族との話し合いの時間を設け、身体拘束ゼロに向けた取り組みを理解して頂き4点柵を完全解除を目指していく。	①夜間、居室入口前での見守りが可能な時間帯はサイドレールを外すことを継続していき少しずつ身体拘束の時間を短くしていく。 ②家族に身体拘束再検討の会議へ参加をして頂く。	6ヶ月
2	35	自然災害についての防災計画が未完成となっている為、計画書作成の実施と避難経路の確認や災害を予測したシュミレーションによる研修を行う。	自然災害についての防火計画書を作成する。	自然災害時の避難経路の確認や災害を予測した研修を月に1度の勉強会の際に行う。	6ヶ月
3	4	運営推進会議の議事録をご家族へ郵送し、皆様にサービスの実際の周知をして頂く。また、職員紹介等を行ない団欒職員を知って頂き関わりやすい環境を提供していく。	ご家族の皆様にご会議内容を把握して頂き、ご意見、ご要望がある際には面会時にお話頂き、今後のサービス向上に活かしていく。	①毎月郵送している団欒新聞に運営推進会議議事録を同封する。 ②団欒新聞に職員紹介コーナーを設ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。